

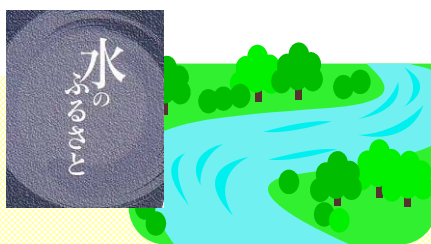
県組合イベント★レポート

群馬県酒産協同組合 主催



## 水のふるさと・上州産日本酒の多彩な魅力をアピール

山紫水明の上州が生んだ極上日本酒の味わいをお試しあれー第2回「ググっとぐんまの地酒祭りin 椿山荘」が5月9日の夕べ(18:30~20:30)、東京文京区の椿山荘で開催され、県内の蔵元 21 社が自慢の地酒をPR。群馬の食材をふんだんに使った豪華な料理とともに、参加した日本酒ファン 300 名に向けて、上州の食文化の魅力をアピールしました。



## 寛いだ雰囲気の中で

「ググっとぐんまの地酒祭り in 椿山荘」は、群馬県酒造協同組合が昨年初めて開催した首都圏向け試飲イベント。昨年の好評を受けて再登場となった今回は、定員数を抑えたこともあって（去年は約 500 名）より寛いだ雰囲気の和やかな集いとなりました（参加費 6000 円、群馬の地酒 720ml プレゼント）。

## 群馬の地酒で乾杯！

会のはじめには、群馬県酒造協同組合の柳澤光雄理事長が「今宵はおいしく飲んで日本酒談義を楽しんでください」と挨拶。続いて、群馬県の茂原璋男副知事の発声で「日本酒で乾杯」した後、いよいよお待ちかねの試飲の時間に。

## 群馬県に行きたくなった

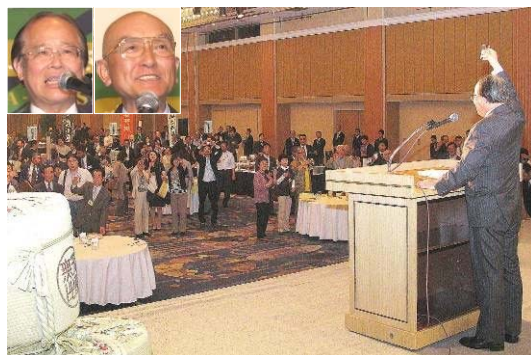
参加者は、試飲の傍ら、赤城和牛など群馬産食材を使った料理に舌鼓を打ったり、群馬県で活躍する漫才コンビ・アンカンミンカンのトークを楽しんだり。会社の日本酒愛好家仲間という女性グループからは「ゆったりしていてステキなイベント。お酒も料理もおいしくて、群馬県に行ってみたくくなりました」との声も。

## 日本酒の安全「信用してます」

会場の一画には、県の酒造好適米「舞風」で造られた地酒コーナーや出品酒の販売コーナーなども設置。また、原発事故の風評被害に対応した「日本酒の安心 PR」コーナーでは、パネルに見入っていた参加者が「もちろん信用します」と、きっぱり答えてくれました。



パーティは立食ビュッフェ形式



群馬の地酒で乾杯！（上左は茂原副知事、右は柳澤理事長）



試飲の合間には、楽しい漫才コンビのトークも（下右）



パネル展示で「日本酒の安心PR」(下右)